



『本当は間違っている
育児と子どもの発達にまつわる50の迷信』
スティーブン・ハップ、ジェレミー・ジュエル
／佐藤美幸、佐藤寛監訳 金剛出版

本

館

請求記号：K/376/H98

資料ID：111640934

人間科学部准教授 塚本 匡

世の中には、「常識」として広く受け入れられている考えがあります。その常識の中には生活を助ける有用な知恵もありますが、その一方で、十分な裏付けがないまま広まっているものもあります。場合によっては誤った判断を生み、私たち自身や周囲の大事な人々を苦しめてしまうことさえあります。例えば、「自閉症の原因はワクチンなのか」や「受刑者の体験談を聞かせて怖がらせれば非行は減るのか」と尋ねられたら、みなさんはどのように答えるでしょうか。

本書は、育児と子どもの発達にまつわる50の迷信（神話）を取り上げ、①一般に信じられている迷信の誤りを示す、②なぜ人々がそれを信じるのかを明らかにする、③研究に裏付けられた対応について議論する、という3つの目的に沿って解説します。研究知見を単に「正解」として示すのではなく、迷信が広まりやすい仕組みやエビデンスに基づいて推奨される実践を紹介している点が魅力です。各項目はとても短く、また翻訳書ですが丁寧に訳されていて読みやすいです。目次を眺めて、気になったところから拾い読みしてもよいでしょう。この本を手がかりに、身の回りの「常識」を一度立ち止まって見つめ直し、根拠にもとづいて考える面白さを大学生活の中で味わってみてください。